

【危険物製造所 完成検査申請】

事例 3

概要：新規原料に伴う製造プラント、機器配管、倍数変更

号	項 目	提 出	備 考
1	申請書	●	
2	委任状	●	
3	完成検査要領書	◆	
4	基礎・配筋施工写真	◆	
5	埋設施工時の写真	—	
6	非破壊検査記録	—	
7	水張・水圧検査済証	◆	
8	水張検査前後の沈下測定結果	—	
9	底板の裏面防食施工の写真	—	
10	耐圧試験結果	◆	
11	検査記録写真・消防用設備等試験結果報告	◆	
12	接地・絶縁抵抗測定成績表	◆	
13	防火設備の認定番号等の資料	—	
14	製造者の検査結果証明書	◇	

●：提出あり(事例添付あり) ◆：現場確認のみ(事例添付有り) ◇：現場確認のみ(事例添付無し) —：提出なし(非該当)

1. 申請書

様式第 8

製造所
危険物 貯蔵所 完成検査申請書
取扱所

令和 〇〇年 〇月 〇日

川 崎 市 長 殿

申請者
住 所 〇〇区〇〇町〇番〇号 (電話000-0000)
〇〇石油化学株式会社 〇〇工場
(電話 000-0000)
氏 名 工場長 〇〇 〇〇

設 置 者	住 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号	
	氏 名	〇〇石油化学株式会社 取締役社長 〇〇 〇〇	
設 置 場 所	川崎市川崎区〇〇町〇番〇号		
製 造 所 等 の 別	製造所	貯蔵所又は取扱所の区分	〇〇設備 〇〇、〇〇倍
設 置 又 は 変 更 の 許可年月日及び許可番号	令和〇〇年〇月〇日 令和〇〇年〇月〇日	第〇〇〇号 第〇〇〇号	
製 造 所 等 の 完 成 期 日	令和〇〇年〇月〇日		
使 用 開 始 予 定 期 日	完成検査済証交付後		
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	※ 手 数 料 欄	
	検査年月日	検査番号	

【申請者】

- ✓ 設置場所の住所と工場長名
- ✓ 工場印と工場長印

【設置者氏名】

- ✓ 事業者名、役職及び氏名

【指定数量の倍数】

- ✓ 必ず記載すること
- ✓ 変更許可申請書と同じ倍数

【変更の許可年月日及び番号】

- ✓ 変更許可書に記載された年月日及び番号を記載
- ✓ 複数の変更許可を1回の完成検査で受検する場合は複数の変更許可を記載

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 この完成検査申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
- 3 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。

2. 委任状

委 任 状

私は、〇〇石油化学株式会社 〇〇工場 工場長 〇〇 〇〇 を
代理人と定め、次の事項を委任します。

記

1. 石油コンビナート等災害防止法に基づく諸手続きに関する一切の件
2. 消防法に基づく諸手続きに関する一切の件

令和〇年〇月〇日

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

〇〇石油化学株式会社

取締役社長 〇〇 〇〇

【委任状】

- ✓ 原本を提出していれば、次回からはカラーコピーの添付でよい
- ✓ 代表取締役社長が対象工場長を委任する

3. 完成検査要領

完成検査要領[変更許可申請]

日時 : 2018年 月 日() 13:30~17:00

対象設備 : 危険物製造所(設備)

【スケジュール】

- 13:40~ 当該設備の概要説明
- 13:50~ 書類確認
- 14:20~ 現場確認
- 15:30~ 休憩
- 15:45~ 消火設備放水テスト、自火報発報テスト
- 16:30~ まとめ

1

【完成検査要領】

- ✓ 完成検査日が決まってから消防局に事前説明を実施します
- ※申請内容により消防局または消防署が完成検査を行います
- ✓ 申請書類との整合性確認項目

【書類確認項目】

- ・危険物配管の耐圧検査結果
- ・危険物取扱機器の接地抵抗結果
- ・20号タンクの基礎・防液堤配筋写真
- ・屋根避雷導体設置写真(安全上写真でのご説明)
- ・泡消火設備、自動火災報知設備試験結果報告書

2

【現場確認項目】

- ・危険物配管の施工状況
- ・危険物取扱機器の設置状況
- ・危険物製造所の区画確認・実測
- ・保有空地の確認・実測
- ・20号タンクの基礎・防液堤実測
- ・危険物施設看板(倍数)・仮使用看板の確認
- ・建築物状況確認
 - *照明、換気設備
 - *防液堤、機器開口立上り、開口部仕舞い、溜め枳
 - *柱耐火被覆
- ・消火設備の設置状況確認
 - *泡消火ヘッダー位置、消火配管ルート、泡ヘッド位置
 - *自火報位置

3

【固定式泡ヘッド放水テスト】

- ・放水試験 最大系統の4階・5階系統を対象
- ・通気試験 各階/ /20号タンク系統を対象

※試験方法詳細については別紙参照。

【自火報設備発報テスト】

- ・感知器、発信機機能試験

4

3. 完成検査要領（固定式泡消火設備完成検査）

1. 目的

本書は、工場向け 泡消火設備の完成検査要領について記載いたします。

2. 対象設備

- 1) 設備 増築部分 泡消火設備

3. 試験実施予定日

- 1) 社内検査：平成30年 8月30日 放水試験、通気試験
2) 消防検査：平成30年 9月 3日 放水試験、通気試験

4. 試験場所

- 1) 放水試験
・設備における今回申請対象の4・5階系統（最大系統）にて実施する。
2) 通気試験
・設備における今回申請対象の1F、2F、3F、CV801系統を夫々確認実施する。

5. 判定基準

- 1) 放水試験
・A泡ヘッド標準放射圧力0.3MPaを確保していること。
2) 通気試験
・泡ヘッドより通気されていること。（吹き流しにて確認）

6. 試験要領

別紙放水試験及び通気試験の要領図により実施する。

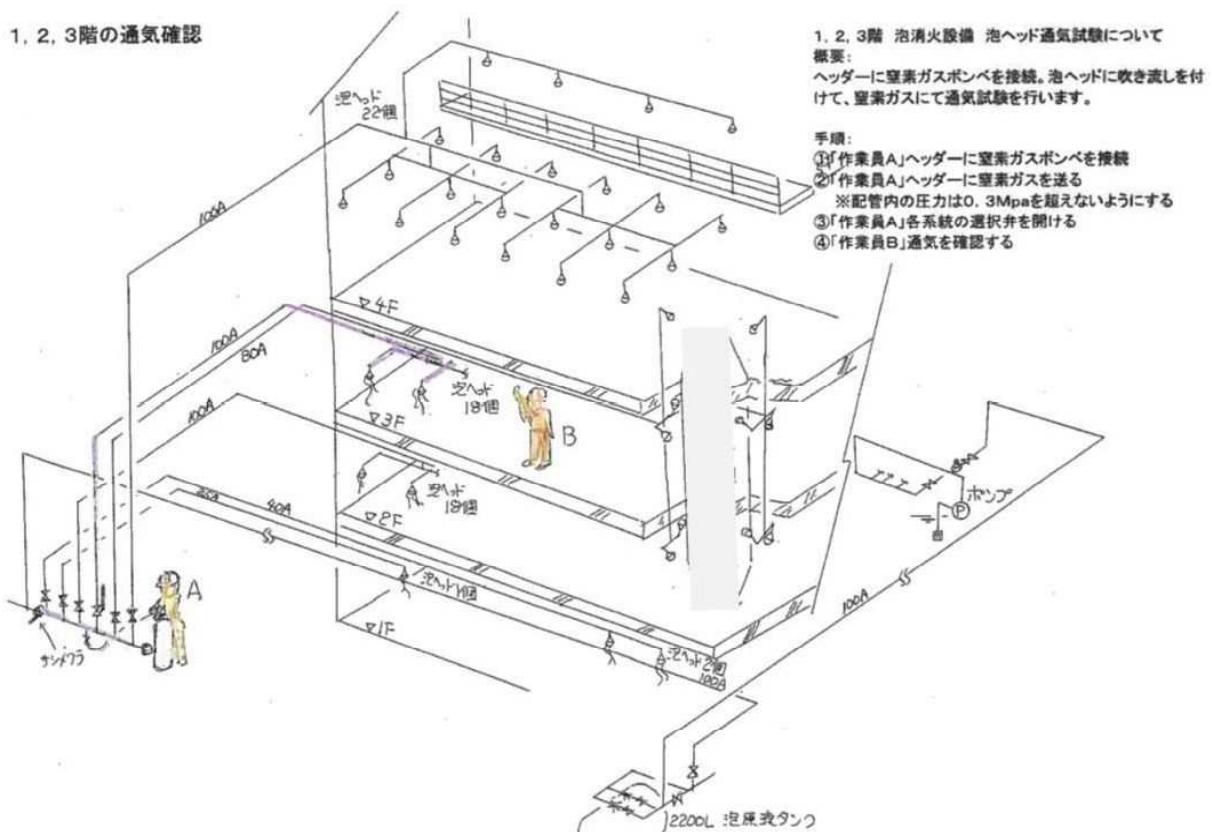
以 上

添付資料

- 1) 4・5階 泡消火設備 放水試験の要領
2) 3階 泡消火設備 通気試験の要領
3) 泡消火設備 通気試験の要領
4) A型 フォームヘッドガイドブック（技術資料）

3. 完成検査要領（固定式泡消火設備完成検査）

1. 2, 3階の通気確認



4. 基礎・配筋施工写真

【基礎配筋記録写真】

✓ 配筋の径、ピッチが分かるような写真を添付

記録写真

工事名: 既存 設備機械基礎工事

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

ポンプ立上り配筋写真

(写真 - 1)

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

ポンプ基礎配筋写真

(写真 - 2)

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

防液堤基礎配筋写真

(写真 - 3)

記録写真

工事名: 既存 設備機械基礎工事

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

防液堤基礎配筋写真

(写真 - 4)

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

20号タンク基礎配筋写真

(写真 - 5)

撮影年月日: 平成30年4月5日

0 5(20号タンク)
基礎配筋図

防液堤立上り基礎配筋写真

(写真 - 6)

7. 水張・水圧検査済証 (20号タンク)

タンク検査済証

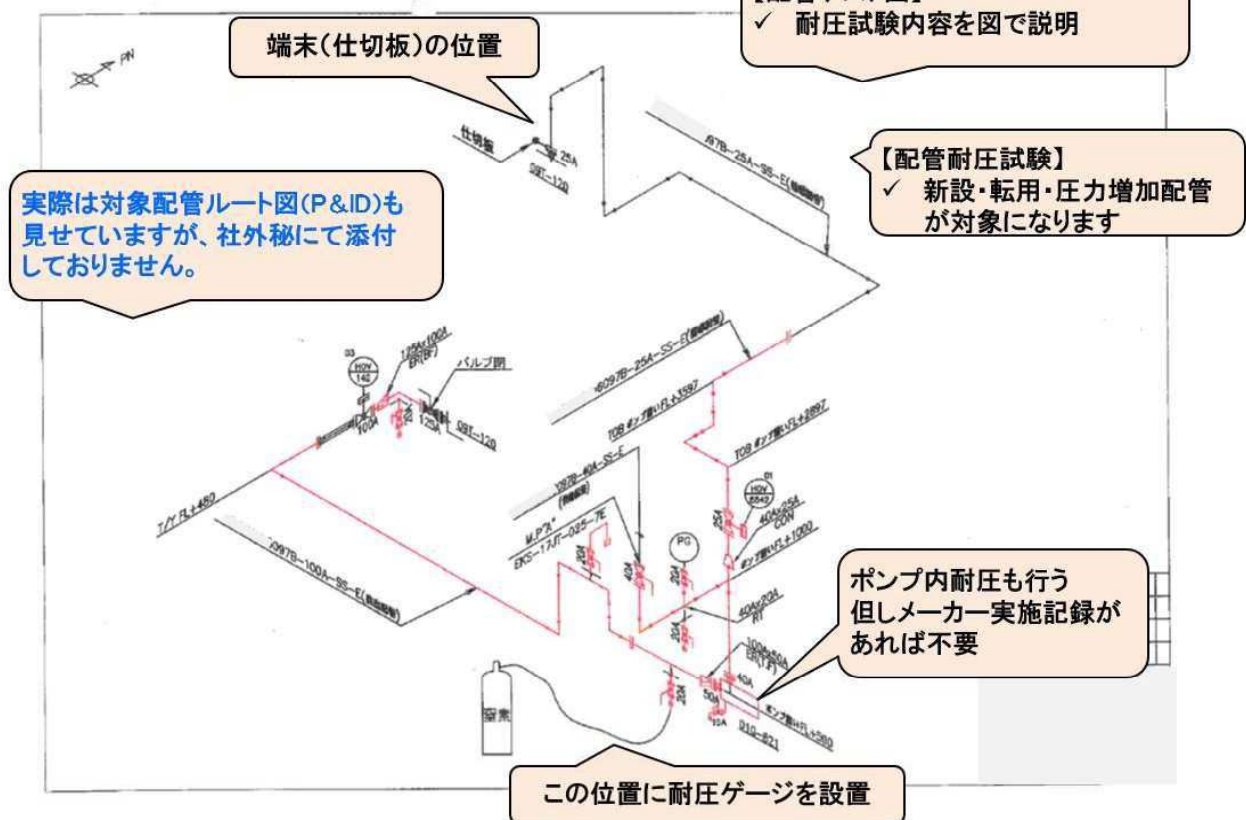
水張又は水圧 検査の別	水張			
検査圧力	常圧			
タンク の 構造	形状	縦置円筒型	容量	0
	寸法	内径 880mm ・ 高さ 1,064mm		
	材質記号 及び板厚	天板 SUS316 4mm 胴板 SUS316 4mm 下部コニカル板 SUS316 4mm		
製造者及び 製造年月日	株式会社 〇〇〇〇 平成30年3月16日			
タンク検査番号	川崎市証明課第358号 平成30年3月26日 川崎市長			

【タンク検査済証】

✓ 製造者からの入手

10. 耐圧試験結果（配管耐圧試験）

【配管テスト図】



10. 耐圧試験結果（配管耐圧試験）

【検査報告書】

顧客名称 会社 殿
工事名称 工事

検査物件

符号	名 称	規格・材質
1	抜出・供給・循環配管	125A-100A-80A-50A-25A-20A-15A SUS 304 10S
2	連通配管	80A-20A SUS 304 10S
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

検査項目

符号	名 称	最大常用圧力	耐圧試験	試験媒体	試験日
1	抜出・供給・循環配管	0.25 MPa	0.40 MPa	窒素	8月26日
2	連通配管	0.10 MPa	0.15 MPa	窒素	8月26日
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					

上記配管は、60分保持、検査の結果 漏洩変形等 異常の無いことを御報告致します。

承認	担当	検査

【耐圧保持時間】

✓ 耐圧10分、気密30分、それ以上の時間にしています

【耐圧・機密試験記録表】

[illegible]

10. 耐压試験結果（配管耐压試験）

【記録写真】

記錄器具

記錄写真

PAGE 1/2

工事名:

工事

撮影年月日 平成30年8月28日

検査項目:

抜出・供給・循環配管

検査開始時間:15:46

気密試験

試験圧力: 0.4MPaG

試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 1)

撮影年月日 平成30年8月28日

検査項目:

抜出・供給・循環配管

検査開始時間:15:55

気密試験

試験圧力: 0.4MPaG

試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 2)

撮影年月日 平成30年8月28日

検査項目:

抜出・供給・循環配管

検査終了時間:16:55

気密試験

試験圧力: 0.4MPaG

試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 3)

- ✓ 開始前圧力・時間
- ✓ 圧力試験内容パネル(図面整合)
- ✓ 開始後圧力・時間
- ✓ 60分以上漏れなし確認写真

11. 検査記録写真・消防用設備等試験結果報告（泡消火設備）

別添様式第5

①

消 火 設 備 試 験 結 果 報 告 書

試験実施日

平成30年 8 月 30 日

試験実施者

住所

氏名

用 途	(12) 項イ	情 造	S造
延べ面積	㎡	備 考	地上 4 階 地階 階
	固定式 (<u>変速放出方式</u>)	同時放出方式	移動式

試 験 場 所 目 録 別 ・ 容 量 等 の 内 容 結果

水	水 源 の 種 類 ・ 備 考		○
	水 量	㎡	○
	浸 水 障 害 防 止 措 置	(有) ・ 無	○
	給 水 装 置 図		○
	耐 震 構 造	(有) ・ 無	○

加 圧 設 置 場 所 屋 外

圧	製 造 者 名	在 原 製 作 所	定 容 往 出 量	L/min
	ポンプの仕様		定格全揚程	m
	型式	200V3F3E	製造番号	R824152

送	製 造 者 名	YASUKAWA	機 別	型 電 動 機
	電動機の仕様		定格電圧	V
	型式	FEK-OW	定格電流	A
	製造番号	809590101	出力	kVA

水	設 置 状 況		○
	配 地 工 事	A	種 接 地
	接 配		○
	潤 滑 油		○

装	水 道 上 昇 防 止 の 為 の 遮 止 装 置	配 管 ・ パ ル プ 管 の 呼び	25	A	○
	性能試験装置の配管・パルプ管	オリフィス等	流通口径	6	mm
	呼 水 装 置	材 質	(鋼製) ・ 合成樹脂製		○
	水 量		150	L	○

製 造 者 名

消防火設備		項目		種別・容量等の内容		結果
試験装置を構成するもの	ポンプ	排水用排水管		80	A	○
		呼吸水		50	A	○
		給水管		20	A	○
		滅水警報装置		プロトスインジ、電圧	○	
		設置場所		屋外	○	
		制御機			○	
	ブレーキ	予備品等			○	
		接地工事		A	種別地	○
		設置位置			○	
		柱		1.6	橋	○
	減圧	圧縮器		(有) ・ 無	○	
		高圧操作部			○	
	送風機	長動用水圧開閉装置	長動用圧力タンク タンクの容量	第2種圧力容器、高圧ガス压力容器	150 L	○
		配管・バルブ類	管の呼び	40	A	○
		自動式	併置型スプリングヘッド			○
		自動式	自動火災感知装置			○
	装束	設置場所等			○	
		手動式	設置高さ	床面からの高さ	1.1 m	○
			通			○
			表示			○
試験装置に使用するもの	高圧用水槽	構造		m^3	m	○
		内容積・落差				○
		配管・バルブ類				○
		水位計				○
	正用力水槽	種類・構造	第2種压力容器、高圧ガス压力容器			○
		内容積・有効圧力		m^3	MPa	○
		自動加圧装置		有 ・ 無		○
		配管・バルブ類				○
		水位計・圧力計				○
						○
配管・バルブ類	設置状況	(有) ・ 無		○		
	配管		特に異常なし		○	
	バルブ類				○	
	放水				○	
試験装置	食持	(有) ・ 無		○		
	取扱	(有) ・ 無		○		

11. 検査記録写真・消防用設備等試験結果報告（泡消火設備）

試 外	配 管	電 源	用 電	項 目	種 別	・ 容 量 等	の 内 容	等 果 結			
	常 用	電 源					V	○			
	非 常	電 源	の 種 類	専用受電・自家発電・蓄電池				○			
				隔	1	2	3	4	CV801	計	-
				放水区域等の数	2	1	1	1	1	6	○
				発泡方式(高乗用・低乗用)	紙	低	低	紙	紙		○
				設 定 状 況	手動	手動	手動	手動	手動		○
				配 置 場 所							○
				設置場所等							○
				配管への取付							○
				取付方向							○
				泡ヘッド							○
				高乗泡用泡放出口							○
				設置場所等							○
				設置高さ	床面からの高さ			l	m		○
				構造・性能							○
				表示							○
				設置場所等							○
				種類・口径							○
				減圧警報							○
				構造・性能							○
				起動操作部	設置場所等						○
				設置高さ	床面からの高さ				m		○
				作動試験装置							○
				構造・性能							○
				充電警報装置							○
				火災表示装置							○
				開口部の措置							○
				自動閉鎖装置を設けない側の区画							○
				開口部の構造							○
				設置場所							○
				消防機の適合性							○
				機器貯蔵量					L		○
				圧力計の指示					MPa		○
				設置場所							○
				組合方式							○
				種類	たんぱく	昇温活性剤・水性顔料					○
				性能	希釈容量濃度			δ	%		○

試験設備		試 験 項 目		自 然 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結 果		
観 測	貯蔵槽等	前	裏	清	濁		○	
	泡酒火栓			泡酒火栓の設置個数	設置個数			
				設置場所				
				周囲の状況・操作性				
				開閉弁設置高さ	床面からの高さ	m		
				ホースの接続口				
				周囲の状況				
	泡酒火栓等			設置状況				
				材質等				
赤色灯表示								
ホース(結合金具を含む)								
ホースノズル			ホース接続口					
			組合状態					
			収納状態					
加圧ポンプ送水装置の性能試験	運転時	水質調整装置	滅水警報装置動作状況	底面からの高さ	50 cm	○		
			自動給水装置動作状況					
			呼水機からの水の導流状況					
			起動・停止操作時の状況等					
			電源切替時の運転状況					
			ポンプの起動状況等					
			始動表示の点灯状況					
			起動用水圧開閉装置の動作圧力	設定圧力 作動圧力	0.54 MPa 0.54 MPa	○ ○		
	ポンプ試験			運転状況			○	
				締切運転時の状況	締切流量 電圧 電流	125 m V A	 	
				定速度負荷運転時の状況	定格流量 電圧 電流	102 m V A	 	
				準水漏上防止装置試験	遮水量	L/min		
	高架水槽を用いるもの	静水圧測定		表示経の差				
				動作試験	給水装置動作状況			
				自動給水装置動作状況				
	高架水槽を用いるもの	静水圧測定		最下位	MPa	最上位	MPa	
				最下位	MPa	最上位	MPa	

11. 検査記録写真・消防用設備等試験結果報告（自動火災報知設備）

別記様式第26 ①

配線の試験結果報告書

試験実施日 平成 30 年 8 月 30 日
試験実施者

住所 _____
氏名 _____

消防設備の種類

屋内消火栓 スプリンクラー設備 水噴霧消火設備 泡消火設備
二酸化炭素消火設備 ハロゲン化炭素消火設備 粉消火設備 屋外消火栓設備
○ 自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報設備 漏電火災警報設備 非常警報設備
放送設備 誘導灯 歩梯設備 非常コンセント設備 無線通信補助設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果
配線	設置場所等	良
	閉路	良
	経路	良
	保護配線の経路	良
	電線の種類・太さ	良
	配線方法	良
	接続	良
	工事方法	良
	電線の種類・太さ	良
	配線方法	良
接地抵抗試験	電圧の種類	良
	接地抵抗値	良
絶縁抵抗試験	電線回路	良
	表示灯回路	良
絶縁耐力試験	電線回路	良
	表示灯回路	良

配線 ②

試験項目	種別・容量等の内容	結果	
機能試験	感知器回路	24 V 50 MΩ	良
	付属装置回路等	V MΩ	
絶縁耐力試験			

試験実施者が有している資格： 消防設備士甲種1種 第 00268 号
消防設備士甲種2種 第 00035 号
消防設備士甲種3種 第 00014 号
消防設備士甲種4種 第 00003 号

※今回の絶縁抵抗試験は、新設した配線及び機器類を測定した数値です

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 結果の欄には、良否を記入すること。

11. 検査記録写真・消防用設備等試験結果報告（自動火災報知設備）

自動火災報知設備 ③

試験項目	種別・容量等の内容	結果
配線	配線回路	良
	送受信機	良
	試験回路	良
	試験回路	良
	大気表示機	良
	2位数字式の機能	良
	音響式の機能	良
	音響表示試験	良
	音響表示試験	良
	音響表示試験	良
受信機	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
送信機	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
その他	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良

自動火災報知設備 (その2) ④

試験項目	種別・容量等の内容	結果
受信機	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
	受信機	良
送信機	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
	送信機	良
その他	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良
	その他	良

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 受信機の表示番号ごとに試験結果を記入すること。

12. 接地・絶縁抵抗測定成績表（機器接地抵抗測定）

電動機・等機器接地抵抗測定記録書

工事名称 対応工事

1. 機器名称

1	
2	ポンプ
3	ポンプ
4	回収槽
5	

2. 測定日時 平成30年8月28日 時刻 ☐ AM ☒ PM 4:00 天候 (曇)

3. 測定者 会社名 株式会社 氏名 TEL

4. 測定機器 型式 共立電機(株) KEW4202 精度 10Ω以上～10Ω未満 10Ω以上～50Ω未満 製造番号 8128507 動作原理 CTクランプ方式

5. 接地抵抗測定記録

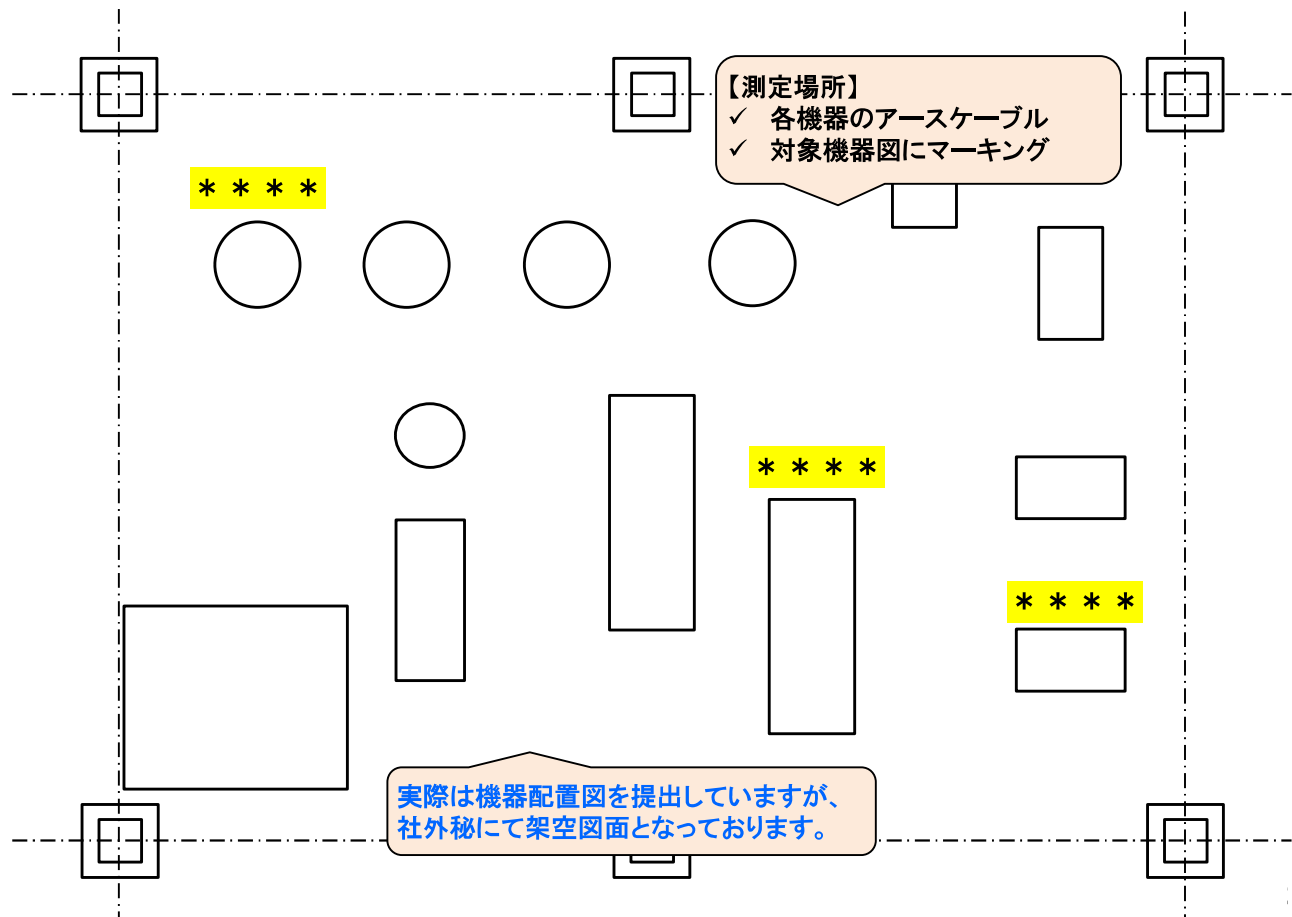
工事種別	C種	内線規程対応省令:第10条→10Ω以下
判定基準		基準→7Ω以下
工事種別	D種	内線規程対応省令:第10条→100Ω以下
判定基準		基準→70Ω以下

No.	機器番号	機器名称	接地箇所	工種	測定値(Ω)	判定
1			接続箱内アース端子	C種		合格
2		ポンプ	接続箱内アース端子	C種		合格
3		ポンプ	接続箱内アース端子	C種		合格
4		回収槽	機器アースビス	D種		合格
5						

5. 機器配置図

別途添付配置図参照

12. 接地・絶縁抵抗測定成績表（機器接地抵抗測定場所）



12. 接地・絶縁抵抗測定成績表（避雷導体設置状況）

避雷設備のJIS規格適用区分は下記とする。

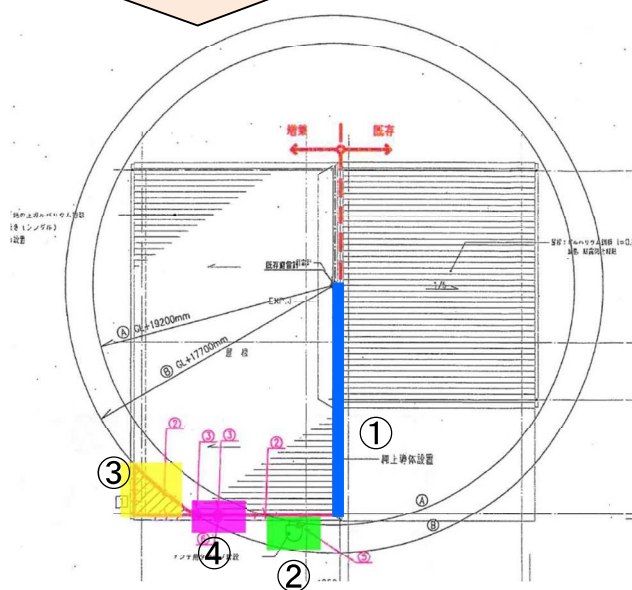
- ・既存部分：既存避雷設備利用（JIS A4201-1992）とする。
- ・増築部分：既存避雷設備（JIS A4201-1992（以下旧JIS））の保護範囲外のみ
新設避雷設備（JIS A4201-2003（以下新JIS））にて保護する規格適合設備とする。
※既存避雷針は、旧JISの避雷設備と新JISの避雷設備を兼ねた設備とする。
- ・協議：川崎市消防局危険物課 2016/10/18, 2017/01/19
TBTC 2017/01/10

凡例・特記			
番号	記号	名称	仕様
①		既存避雷針	全長10.4m（危険物申請より）
②		導体	アルミ線 2.0φ×25C 支柱金物 水平600mm 垂直1000mm
③		接地端子	T型接地端子（耐食アルミ合金製）
④		接地端子	十字型接地端子（耐食アルミ合金製）
⑤		接地端子	環状端子（耐食アルミ合金製）
⑥		引き下げ導体	アルミ線 2.0φ×19C 支柱金物 垂直1000mm（点検は配管保護）
⑦		接地端子箱	露出型 SUS製
⑧		接地極	接地鋼板 真鍮ろう付 900×900×1.5t 埋設深さ：750mm

特記
・引き下げ導体は、GL-750~GL+3000mmまでVE管にて保護する。

- ① R=10.5m GL+19200mm（既存側水、増築側水）
② R=11.7m GL+17700mm（増築側水）

実際は配置図と立面図も確認、施工記録写真図と
避雷接地抵抗測定記録書も見せていますが、
社外秘にて添付しておりません。



確認箇所に番号を記載して確認